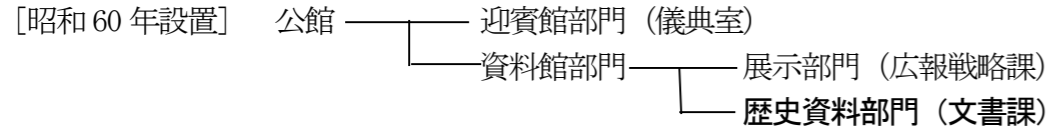


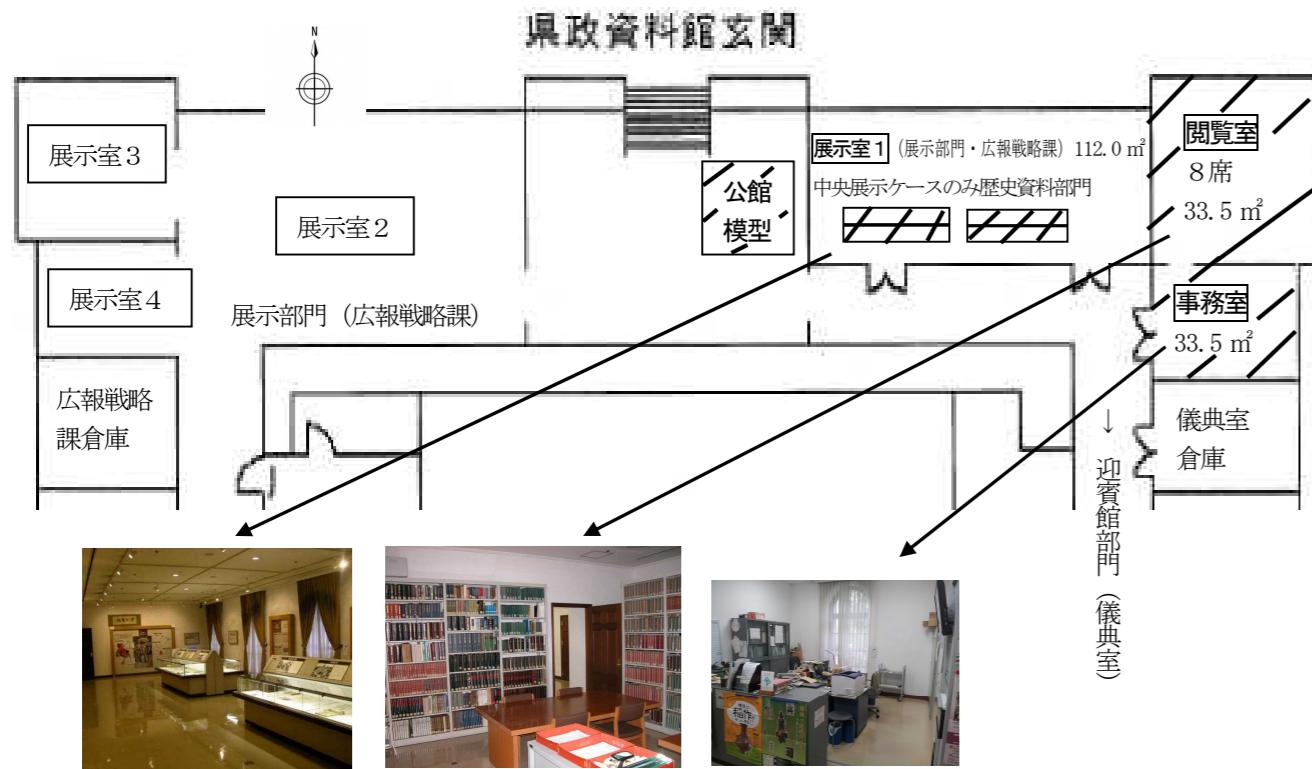
## I 現状 ～ 県政資料館歴史資料部門の概要



■ 次の歴史資料として重要な文書等を保存し、県民の利用に供する。

- ・ 歴史的文化的価値を有する公文書
- ・ 兵庫県史、兵庫県百年史の編集（昭和42年～平成10年）に際して収集した史料、図書刊行物等

■ 公文書館法に基づく公文書館ではないが、事実上公文書館機能を有する施設として認知されている。



書庫 公館1階 (399.0 m²、書架延長3,284m) } 収容率72%  
 下山手分室地下1階 (117.4 m²、書架延長640m) } (収蔵延長3,284m/書架延長3,924m)

## 2 収蔵資料

区分	収蔵数	年代	内容
文 書 資 料	歴史的公文書	27,721 慶応4～平成24	県庁文書27,432冊 (うち震災関連文書等12,888冊) 郡役所文書289冊(宍粟・神崎等)
	県史収集史料等	12,223 古代～近代	原史料6,571点 (但馬国絵図・平福大庄屋文書・西光寺村文書・但馬国豊岡猪子家文書等、近世～近代) 複製史料5,652編冊 (東京大学史料編纂所影写本・東寺百合文書・兵庫県史料等、古代～近代)
	公報等	2,838 明治5～平成29	県布達629冊(複製、明治5～明治19年) 県報及び県公報380冊(明治23～平成19年度) 神戸又新日報(複製、明治19～明治23年)10簿冊 官報1,819冊(明治16～平成29年度)
	刊行物	35,428 近世～現代	古書籍、行政資料、自治体史、史料集、研究紀要、他機関の資料目録、日本史関係書籍等
小計	78,210		
その他資料	22,343 考古～現代		写真史料17,436点(『兵庫県史』掲載写真等)、地図3,149点、その他県史編纂関係参考資料等1,758点

3 利用状況 H29 公館利用（一般開放・一般公開・見学）19,501人 県政資料館（展示見学）2,715人  
 歴史資料部門（資料閲覧請求者）167人

開館日 平日 午前9時から午後5時まで 土曜日 午前10時から午後4時まで（展示のみ）  
 H31年1月に収蔵資料目録検索システム導入

- ・ インターネットによる一部資料の検索が可能に
- ・ 国立公文書館デジタルアーカイブの検索画面から県政資料館の収蔵史料も検索可能に（3月予定）

## 4 事業

### (1) 特別展示（平成10年度～）

年1回1～2か月の期間、常設展示に替えて、特定のテーマに基づく展示を実施

[直近の実績] H29 兵庫の開港 — 「兵庫県史」に見る幕末—

H30 第1次兵庫県 — 県のかたちと県政のはじまり—

### (2) 兵庫県史セミナー（平成16年度～）

年1回2日間開催

[直近の実績] H29 県域と幕末—兵庫県史にみる幕末維新— 85名参加

H30 兵庫県のかたち—阪神地域の形成— 78名参加

### (3) 歴史資料解説講座（平成17年度～）

年1回2日間開催

[直近の実績] H29 「条約交渉と開港場兵庫の決定」・「開港場兵庫から神戸開港へ」 34名参加

H30 「江戸時代の村文書と村」・「村行政の近代への転換」 34名参加

## II 課題

### 1 収蔵資料の劣化対策

差し迫って滅失のおそれがある状況ではないが、古文書等の収蔵資料の劣化が進行し、将来的には酸化防止、防虫等の対策が必要。

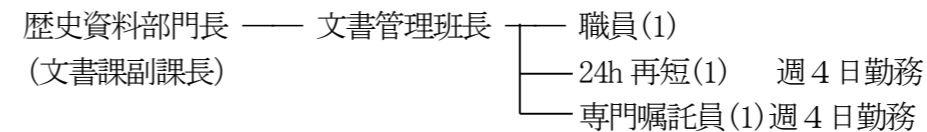
### 2 利用実績

(1) 資料閲覧請求 年間150人程度（半数は、県職員による公報等の閲覧）

(2) セミナー・講座参加者 30人程度 × 年間4日

(3) 特別展示（毎年12月） アンケート回答者 122人

### 3 組織体制



※ 24h再短職員と専門嘱託員のみ公館に常駐

常設・特別展示、セミナー・講座事業の実施といった事業は、すべて専門嘱託員1人で実施